



市長からの手紙

94 小林斗盦先生の顕彰モニュメント

川越まつり会館のすぐ北にある土地に、間もなく小林斗盦先生の顕彰モニュメントを設置します。

先生については、平成28年に国立博物館東洋館で行われた生誕100周年記念展「小林斗盦篆刻の軌跡」を見学した経験を、「市長からの手紙」に書きました。

先生は、川越生まれ川越育ちの著名な書家・篆刻家です。家業の印鑑製作販売の仕事の傍ら、漢籍、中国古印学、中国古代文字の研究や篆刻の研さんを続け、昭和23年(1948)の日展初入選を皮切りに日展の特選、文部大臣賞、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞、平成16年には篆刻家として初めて文化勲章を受章された、世界的

に著名な方です。晩年は川越を離れ都内で製作・生活をされ、平成19年に逝去されています。

前回も書きましたが、安倍晋太郎氏や、中国の江沢民元国家主席、小説家の司馬遼太郎氏など、各界で活躍されている方々の印鑑も先生が彫られています。

モニュメントを設置する場所は、先生の生家跡地として数年前に取得したものです。現在は、暫定的に自転車シェアリングのステーションや観光客のためのベンチが置いてあります。

この10年の間に、国のインバウンド政策のおかげで外国人の観光客が急増しており、特に中国本土、台湾からの観光客は目立って増えています。篆刻の名家である中国では、先生は多くの人知っている極めて有名な人物であるとのこと。先生の作品を展示する施設ができるまで、日本人観光客はもとより、先生の生誕の地、数々の作品を制作した地は川越であるということも多くの方々に知っていただくために、モニュメントを設置します。

川越市長 川合善明

こんなこともやっています！
図書館の仕事 その6

中央図書館 Tel 222-0559

Fax 224-7822

図書館の貴重な資料を公開しています

川越の図書館の歴史は100年以上あり、昔の川越を知るための貴重な資料をたくさん所蔵しています。これらの資料は普段、特別な書庫の中に保管されていて簡単に見ることができません。もっと多くの人にこれらの資料を知ってもらうため、中央図書館2階の郷土資料室では、年に数回テーマを変えて展示を行っています。平成28年からは、市立博物館と同じテーマで展示を行う「図書館・博物館連携企画展示」も毎年開催しています。

また、昨年12月から図書館のホームページが新しくなり、インターネット上で資料を見ることができるよう「デジタルアーカイブ」のページが誕生しました。このデジタルアーカイブ



デジタルアーカイブで公開されている「柳沢侯時代川越図」

には、貴重な資料の画像が公開されていて、誰でも自由に見ることが出来ます。現在8点の絵図が公開されていますが、これらは全て川越城や川越のまちを描いたものです。画像を拡大してみると、現代に残っている道路や寺社などを見つけることができ、川越の歴史を感じることが出来ます。今後も図書館で所蔵する資料を公開していきますので、ぜひ楽しみにしてください。